

科目名	担当教員名	曜日・時限
ライフデザイン(公務員・資格試験小論文演習)	福岡英明	火曜 6 限
講義授業		
<p>●授業のテーマ 公務員試験等の一般的な小論文・集団討論・プレゼンテーションに向けて文章力、表現力を高める。この授業では、主として、地方公務員（一般事務）を目指す学生を対象とする。もちろん、国家公務員を目指す学生の参加も歓迎する。</p> <p>●授業の内容 ※本科目は3・4年生対象科目となっております。 公務員試験では、一般的な小論文、集団討論、プレゼンテーションが課される（このうち一つだけか、二つあるいは三つ課されるかは自治体により異なる）。 一般的な小論文では、「あなたが〇〇市の職員としてやってみたい仕事を挙げ、今後、〇〇市をどのような市にしていきたいか、あなたの考えを述べてください。」といった問題が出される。 集団討論では、「本県では、東京オリンピックの際に、4競技が開催される。この成功に向けどのような課題と対策が考えられるか、また、これをきっかけに今後、本県をさらに活性化させていくにはどうすべきか。」といった問題が出され、何人かのグループで討論し、グループとしての意見をまとめることが求められる。 プレゼンテーションでは、上記のような問題に対する自分の意見を口頭で述べる事が求められる。 この授業では、いわばそのための予行演習を行うことになる。</p> <p>●到達目標 明解な文章を書くことができる。情報を収集・整理・分析し、自分の意見をわかりやすく説明できる。意見交換を通じてグループの見解をまとめることができる。</p>		
成績評価の方法・基準		
<p>●平常点 100% 授業時の論文問題演習・集団討議・個別プレゼン等において、「到達目標」で挙げた諸点につき、論文としてまとめることが出来たか否か、また、口頭で自分の意見を相手に伝えることが出来たか否か、その他演習への貢献度により評価する。</p>		
教科書		
特に指定しない。		
参考文献(コメント)		
<p>●吉岡友治『地方上級・国家一般職[大卒]・市役所上・中級 論文試験 頻出テーマのまとめ方 2020年度版』実務教育出版(2019.03.06.刊行予定)</p> <p>●鈴木鋭知『公務員試験無敵の論文メソッド』実務教育出版</p> <p>●高瀬享一『公務員試験 論文・面接で問われる行政課題・政策論のポイント 2020年度版』実務教育出版(2019.03.13.刊行予定)</p> <p>●大賀英徳『公務員試験 現職人事が書いた「面接試験・官庁訪問」の本 2020年度版』実務教育出版(2019.04.03.刊行予定)</p> <p>●山下純一『論文試験の秘伝』TAC 出版</p> <p>●山下純一『面接・官庁訪問の秘伝』TAC 出版</p> <p>●『公務員試験受験ジャーナル』『公務員試験学習スタートブック』実務教育出版</p> <p>その他、必要なものについては適宜指示します。</p>		
授業計画		
<p>●授業計画 第1回～第5回 小論文の作成と講評 事前に課題の小論文を作成してきてもらうが、第5回は、従業時間内に作成してもらう。 第6回～第10回 集団討論・意見発表 5人程度のグループで意見をとりまとめ、発表する。 第11回～第15回 プレゼンテーション・質疑応答 各自が受験を考えている自治体等を前提にして、課題に即したプレゼンテーション・質疑応答を行う。</p> <p>●授業計画の説明 プレゼンテーションでは、受験予定の自治体の現状・課題・対策について課題に即して報告してもらうが、受講者の数により、プレゼンテーションの回数は変動するので、上記の授業計画はあくまでも目安である。</p> <p>●授業時間外の学習方法 正確な漢字が書けるように意識して自習すること。 新聞を読むこと。 ニュース番組、報道番組を見ること。</p> <p>●受講に関するアドバイス 復習を重視すること。たとえば、小論文は、書きっぱなしではなく、納得のいくまで書き直してみるとよい。 なお、受講者は公務員試験等を受験する学生を想定していますが、民間企業を志望する学生にも役立つはず。</p>		